

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	55	生活習慣病予防対策事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	2-(3)-7-②			
担当部課名	保健医療介護部 健康長寿課	事業実施 (予定)年度	R4~R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	生活習慣病等の予防に向けた 健康的な生活の定着		
事業内容	県民が主体的に健康づくりに取り組むための環境を整備するため、健康経営の普及に取り組む経済団体等に対する取組の支援、運動促進イベントの開催、動画配信・イベント出展等による健康づくりの普及啓発活動等を行う。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和7年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】		R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	35,400		34,877		32,325
		(b)予算現額	35,400		34,877		32,325
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	35,400	0	34,877	0	32,325
	B. 執行済額		35,342		34,827		32,277
	うち交付金充当額		28,274		27,861		25,821
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.8%		99.9%		99.9%
予算の状況の説明		・執行率は99.9%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	①健康経営モデル構築のための実践支援	目標		—	30社	30社	
		実績		—	26社	19社	
	②健康経営に係る経済団体モデルの支援	目標		2団体	2団体	2団体	
		実績		2団体	3団体	2団体	
	③食育SATシステム等を活用した職場における健康教育の実施	目標		20件	20件	20件	
		実績		8件	8件	8件	
	④運動促進イベントの開催	目標		—	—	1回以上	
		実績		—	—	1回	
	⑤運動促進イベントの検証結果を公表する	目標		—	—	公表する	
		実績		—	—	公表済	
	⑥健康情報コンテンツの制作発信	目標		2~3本	3~5本	5本以上	
実績			5本	5本	5本		
⑦普及啓発イベントの実施(イベント又はセミナーの開催又は出展)	目標		1~3回	1~3回	4回以上		
	実績		4回	5回	4回		
進捗状況説明	①沖縄県商工会連合会及び沖縄県法人会連合会の会員企業向けにセミナー等を実施した。 ②経済団体モデル創出:沖縄県商工会連合会及び沖縄県法人会連合会の2団体において健康経営の支援モデルを創出した。 ③健康教育の実施:健康づくりに積極的な企業に対し実施したが、目標回数に届かなかった。 ④⑤オンラインウォーキングイベント(R6.10月~12月の3か月間)を開催し、その結果を実績レポートとして公表した。 ⑥情報コンテンツ:県民向けの動画コンテンツを5本制作し、YouTubeチャンネルで発信した。 ⑦普及啓発イベント:4回(主催:「うりずんフェスタ」、出展:各産業まつり(八重山、沖縄本島、宮古))						

成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)	基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R7年度)
			目標	実績	実績	実績
①健康経営に取り組む事業所数 (うちな一健康経営宣言数、累計)	目標		450事業所	1,500事業所	2,400事業所	
	実績		1,393事業所	1,712事業所	2,030事業所	
②食生活支援を受けた者のうち、食行動を改善した者の割合	目標		10%	10%	10%	
	実績		9.1%	27.1%	24.0%	
③運動促進イベントの参加企業・団体数	目標		—	—	80団体以上	
	実績		—	—	63団体	
④運動促進イベント前は運動習慣がなかった参加者のうち、「参加によって運動機会が増えた」かつ「今後も継続したい」と事後アンケートで回答した者の割合	目標		—	—	80%以上	
	実績		—	—	55.0%	
⑤健康づくりを推進する団体等を対象としたアンケートで、制作した動画コンテンツを活用したいと回答した割合	目標		—	—	80%以上	
	実績		—	—	71%	
⑥イベント等参加者(来場者)のうち、健康的な生活習慣を実践したいと思った者の割合	目標		—	—	80%以上	
	実績		—	—	97.9%	
	【R7成果目標】 R6年度に制作した動画の公開1年後の総視聴回数	目標				3,500回以上
達成状況説明	<p>①健康経営の指標となる「うちな一健康経営宣言」は、県を含めた公的機関5者が連携協定を締結し実施している。取組の周知が進んだことや、健康経営に対する関心の高まりから、健康経営を宣言した事業所数は順調に増加しているが、目標値には届かなかった。</p> <p>②食行動が改善した人の割合は、24%で目標を達成した。</p> <p>③④ウォーキングイベントの参加企業・団体数は63団体と目標に達しなかった。また、イベント前に運動習慣がなかった者のうち、「参加によって運動機会が増えた」かつ「今後も継続したい」と事後アンケートで回答した割合は55%となり、目標を下回った。</p> <p>⑤制作した動画に関するアンケートで、動画を活用したいと回答した割合は71%となり、目標を下回った。</p> <p>⑥イベント来場者を対象に実施したアンケートで、出展内容を踏まえ「健康的な生活習慣を実践したい」と回答した者の割合は97.9%で目標を達成した。</p>					

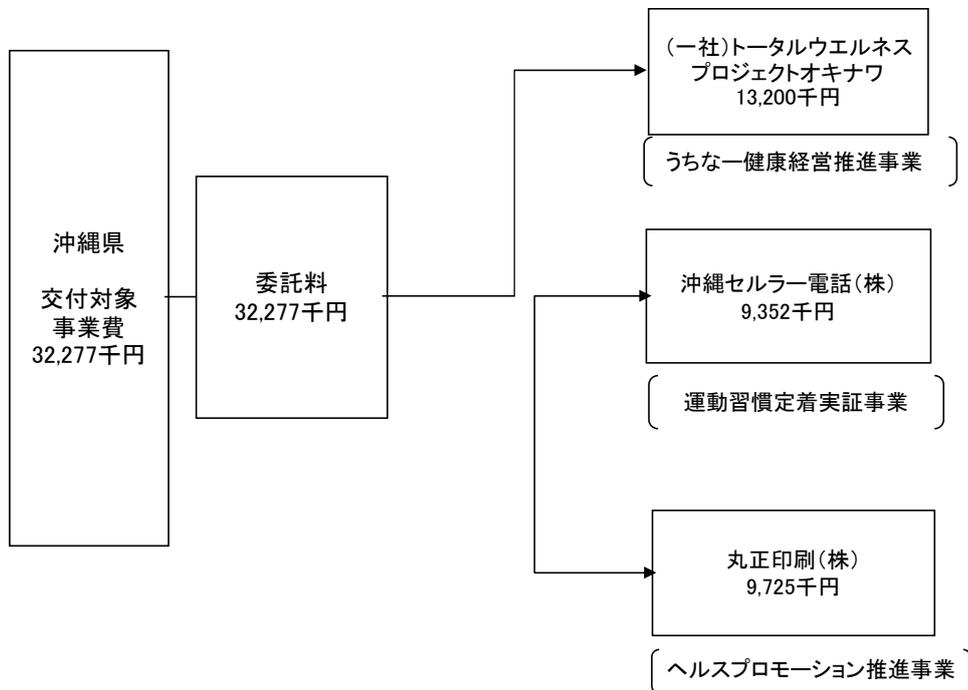
R6-No.55

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
		<p>①健康経営に取り組むことを宣言した事業所の数(うちな一健康経営宣言事業所数)の増加ペースが緩やかになっており、中期目標(令和9年度までに5,000事業所)の達成が厳しい状況にある。</p> <p>②運動促進イベントの参加企業・団体数が目標を下回り、同イベントが健康経営の取組として当初の想定よりも活用されなかった。</p>
今後の取り組み方針		
<p>①本事業で取り組んできた健康経営の団体普及モデル(商工会等の経済団体や業界団体を通じた健康経営に関する取組の普及促進モデル)をより一層強化し、これまで健康経営に取り組めてこなかった企業に取り組めるよう、地域や業種の特性を踏まえてより身近で具体的な実践例や健康経営に取り組む利点の紹介、各種情報発信を通じた機運の醸成に取り組む。</p> <p>②企業・団体単位でのイベント参加は健康経営の推進に有効であると考えられることから、健康経営のはじめの一歩としてこれまで参加できていなかった企業・団体に対して参加を呼びかける。具体的には、これまでに参加した企業・団体がどのようにイベントに取り組み、企業・団体内での健康づくりにどのように活用してきたかという事例を収集し、新たな参加を募る際の事例紹介に活用する。</p>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
32,277	32,277	25,821	6,456	0	0	0



資金の 使途の 流れ・ 費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企画提案プロポーザル方式にて、より効率的・効果的に事業を遂行できる者を選定したものであり、選定方法は妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業報告書等进行检查し、適正である事を確認した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	50	離島診療所代替看護師支援事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	2-(3)-ウ-①				
担当部課名	保健医療介護部 保健医療総務課	事業実施 (予定)年度	H25~R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	離島・へき地医療提供体制の確保・充実			
事業内容	離島における医療提供体制の維持・確保及び充実を図るため、離島診療所(県立・町立)に勤務する看護師が研修等で不在の場合における代替看護師の配置に要する経費を支援する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】		R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	25,186		25,507		23,642	
		(b) 予算現額	25,186		25,507		25,773	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	2,131	
		(d) 前年度繰越額						
		A. 計(b+d)	25,186	0	25,507	0	25,773	
	B. 執行済額		20,820		21,476		24,523	
	うち交付金充当額		16,655		17,180		17,913	
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		82.7%		84.2%		95.1%	
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・県病院事業局代替看護師の給与改定等により、予算現額は当初予算額から増額となった。 ・執行率は、95.1%であり、概ね計画的に執行できた。 						
活動目標(指標)及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	代替看護師派遣日数		目標	288日	420日	420日	420日	
		実績	389日	443日	487日	404日		
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・代替看護師派遣日数は、目標値420日に対して実績値404日となり、達成率は96.2%となった。 ・離島診療所からの代替看護師の派遣依頼が例年より少なかったことにより、実績減となっている。 ・親病院からの派遣実績は前年度から65日増の347日となり、本事業の派遣実績と合計すると令和6年度の派遣日数は751日となった。 						
成果目標(指標)及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)	
	年間開所日数全てにおいて看護師不在の状況がない県内離島へき地診療所 19箇所		目標	16箇所	19箇所	19箇所	19箇所	-
			実績	16箇所	19箇所	19箇所	19箇所	-
	【参考指標】 看護師就業者数(人口10万人対比)		目標	-	-	-	-	-
			実績	881.2人 (H24)	1,205.3人(R4)	1,205.3人(R4)	1,205.3人(R4)	-
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・看護師不在となる県内離島へき地診療所はなく、目標を達成している。 ・代替看護師に求められるへき地診療に係る知識、技術等について、学会参加や研修等を通じて情報収集を行うことで、現場指導等を行うためのスキルアップを図った。 ・本事業と関連・連携し、看護学生向けに「島しょ看護体験研修」として、粟国島での離島医療・島しょ看護に関わる研修を行い、将来の担い手育成に繋がる取組みを実施した。 						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①在宅医療をはじめとした医療ニーズが多様化しており、住み慣れた島で最後まで暮らしたいという気持ちに寄り添った、医療、看護が求められている。	①在宅医療や地域包括ケアシステムの推進に向けて、診療所内での業務に留まらず、離島村役場や保健師等の地域の関係者との関係構築・連携を図る必要がある。
	②代替看護師には離島・へき地において必要とされる救急医療や在宅医療に関する知識の習得とともに、離島診療所に勤務する看護師を支援・指導するための技術や情報提供が求められる。	②代替看護師が離島診療所看護師への支援・指導等に有益な研修等を計画的に受講し、現場指導等が行える体制整備を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>①代替看護師としての派遣時やリモート会議等を活用し、離島村役場や保健師等の関係者と関係構築を図り、在宅医療へのニーズや地域包括ケアシステムの推進に向けた取組みを実施していく。</p> <p>②業務手順の見直しや物品管理等の管理業務を含めた応援・指導等を継続して実施していく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
24,523	22,392	17,913	4,479	0	0	2,131
<pre> graph LR A[沖縄県 交付対象事業費 22,392千円] --> B[補助金 17,913千円] B --> C[病院事業局 17,913千円] D["(代替看護師に係る人件費等 給与、職員手当、法定福利費等)"] --- C E["(交付対象事業費 うち県負担金分(4,479千円)は 病院事業局が負担)"] --- C F["(交付申請額超過経費 (交付対象外経費)2,131千円)"] --- G["(2,131千円)"] G --- D </pre>						
資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目		評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○離島診療所の運営母体である沖縄県病院事業局への補助であり、費目・使途は代替看護師3名にかかる人件費、活動費に限定されており、適切であった。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。				
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。				
	○	費目・使途が事業目的に即真に必要なものに限定されているか。				

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	51	離島診療所代診医支援事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	2-(3)-ウ-①								
				離島・へき地医療提供体制の確保・充実								
担当部署	保健医療介護部	医療政策課	事業実施 (予定)年度	H24～R13	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-4					
事業内容	県内離島へき地診療所における医療の確保を図るため、県内離島へき地診療所に配置された医師が研修への参加等により不在になる期間、代診医を派遣する。											
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)											
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()											
予算額・執行額 【単位:千円】	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	R4年度	36,710	R4年度(繰越)		R5年度	37,598	R5年度(繰越)		R6年度	33,602
		(b) 予算現額	36,710			37,598		33,782				
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	180					
		(d) 前年度繰越額										
		A. 計(b+d)	36,710	0	37,598	0	33,782					
		B. 執行済額	36,477		31,696		28,371					
		うち交付金充当額	29,181		25,357		22,697					
		C. 次年度繰越額			0	0	0					
		執行率(%) (B/A)	99.4%		84.3%		84.0%					
		予算の状況の説明	直近の執行状況精査により、予算額が減となった。									
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況									
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度					
	代診医派遣日数		目標	200日	200日	200日	200日					
			実績	158日	147日	132日	139日					
進捗状況説明	提出された調整票をもとに代診需要を把握した上で、県内の離島診療所9箇所へ代診医の派遣を行い、離島診療所医師の研修機会の拡充、勤務環境の改善を図った。 派遣日数実績は139日と目標の200日には達していない状況である。その要因としては、離島診療所の医師が参加する研修等が重複することが多く、代診要請に十分に対応することができていないためである。											
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)					
	年間開所日数全てにおいて医師不在の状態がない県内離島へき地診療所		目標	20	20	20						
			実績	20	20	20						
	達成状況説明	医師不在となった離島へき地診療所は0であり、目標を達成している。										

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 改正医療法に基づき策定した医療確保計画における各医療圏及び離島・へき地診療所の医師確保の方針及び目標医師数並びに目標医師数確保に向けた施策を踏まえ事業を実施していく。 働き方改革関連法による労働基準法の改正により、医療従事者についても令和6年度から時間外労働上限規制が適用されている。 派遣日数実績が目標の200日には達していない状況である。その要因としては、離島診療所の医師が参加する研修等が重複することが多く、代診要請に十分に対応することができていないためである。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師確保計画を踏まえ、県内へき地診療所における医療需要の変化、及び時間外労働上限規制の導入により必要となる代診医派遣のあり方について検討を行う必要がある。 他の代診医派遣制度との効率的な派遣計画の組み合わせ検討を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>医師確保計画を踏まえ、県内へき地診療所における医療需要の変化及び時間が労働上限規制の導入により必要となる代診医派遣のあり方について、へき地医療支援機構並びに各診療所附属病院等の各代診医派遣事業実施機関と議論を行う。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
28,371	28,371	22,697	5,674	0	0	0

沖縄県

交付対象事業費
28,371千円

代診医担当医2名分の人件費

給料及び職員手当(扶養手当、初任給調整手当、地域手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当) 28,371千円

{

代診医師への給料

}

資金の流し、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○			
	○			○離島医療に意欲のある医師を選定している。
	-			○費用は、医師2名の人件費のみと限定されている。
	○			

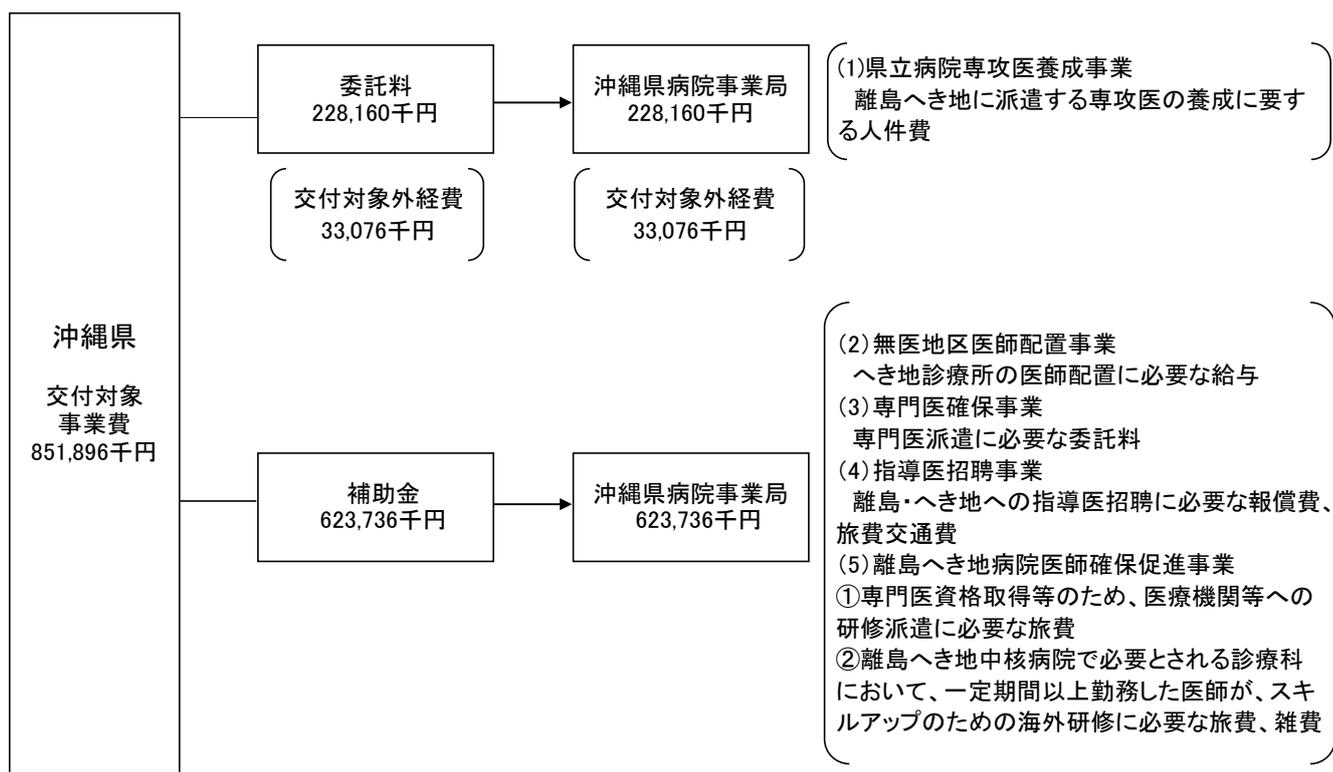
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	52 県立病院医師確保支援事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章）	2-(3)-ウ-①				
担当部課名	保健医療介護部 医療政策課	事業実施（予定）年度	H24～R13 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	離島・へき地医療提供体制の確保・充実 Ⅲ-4-(2)	
事業内容	離島・へき地における医療提供体制を確保するため、沖縄県病院事業局が実施する医師確保事業等を支援する。 (1)県立病院専攻医養成事業 (2)無医地区医師配置事業 (3)専門医確保事業 (4)指導医招聘事業 (5)離島へき地病院医師確保促進事業						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位：千円】		R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,089,101		1,092,643		1,073,704
		(b)予算現額	966,229		1,013,735		927,045
		(c)増減額(b-a)	▲122,872	0	▲78,908	0	▲146,659
		(d)前年度繰越額					
	A. 計(b+d)		966,229	0	1,013,735	0	927,045
	B. 執行済額		876,126		879,784		851,896
	うち交付金充当額		700,900		703,824		681,514
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		90.7%		86.8%		91.9%
予算の状況の説明		減額補正の理由は主に(1)県立病院専攻医養成事業の養成人数が当初想定を下回ったこと、(3)専門医確保事業における専門医の配置減や給与の実績減による。執行率は91.9%であり、主に(3)専門医確保事業における医師の勤務状況等による給与の実績減による。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	(1)県立病院専攻医養成事業 専攻医派遣数 14名	目標	—	11名	11名	14名	
		実績	—	11名	19名	13名	
	(2)無医地区医師配置事業 特に医師確保が困難な県立離島診療所における医師確保数 9名	目標	9名	9名	9名	9名	
		実績	9名	9名	9名	9名	
	(3)専門医確保事業 県立離島・へき地病院における確保医師数 23名	目標	20名	19名	19名	23名	
		実績	17名	19名	20名	16名	
	(4)指導医招聘事業 指導医招聘数 10名	目標	—	—	—	10名	
		実績	—	—	—	8名	
(5)離島へき地病院医師確保促進事業 研修派遣医師数 2名	目標	4名(国内)	3名(国内)	3名(国内)	2名		
	実績	3名(国内)	3名(国内)	3名(国内)	2名		
進捗状況説明	(1)(2)(4)(5)において目標値を概ね達成した。 (3)においては、派遣を予定していた医師が派遣できなかったことや派遣期間を短縮したことにより、目標とする医師数を確保できなかった。						
成果目標(指標)及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(〇〇年度)
	(2)無医地区医師配置事業 医師の確保が困難な県立離島診療所9箇所において休診がない状態。	目標		休診0	休診0	休診0	
		実績		休診0	休診0	休診0	
	(1)県立病院専攻医養成事業 (3)専門医確保事業 (4)指導医招聘事業 (5)離島へき地病院医師確保促進事業 共通 離島・へき地の中核病院の主要な15診療科(北部・宮古・八重山の3病院×5診療科)において休診が無い状態	目標		休診0	休診0	休診0	
		実績		休診0	休診0	休診0	
達成状況説明	休診は0であり、目標を達成している。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の不足や偏在が続くなか、県立病院においても、離島へき地等で勤務する医師を養成するための指導医の確保に苦慮している状況がある。 ・令和6年4月から医師の働き方改革が開始されたことに伴い、地域医療や診療体制への影響に留意する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立病院において指導医を確保できる体制強化について、病院事業局と検討を行う必要がある。 ・医師の働き方改革による現場の状況を踏まえて、必要となる医師数について適宜検討を行う必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・県立病院において指導医を確保できる体制強化について、病院事業局と意見交換を行っており、引き続き検討を行う。 ・医師の働き方改革による影響を注視し、必要となる医師数について適宜検討を行っていく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金				交付対象外経費
		充当額	負担金	うち市町村負担金	その他	
884,972	851,896	681,514	170,382	0	0	33,076



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者(特命随契)及び補助金交付先である沖縄県病院事業局は、離島に病院や診療所を有し、日頃から当該地域の医療に携わっているため、離島の医療ニーズを踏まえた医師の養成を行うことができ、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費目・使途については、事業報告書等を検査し、適正である事を確認した。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

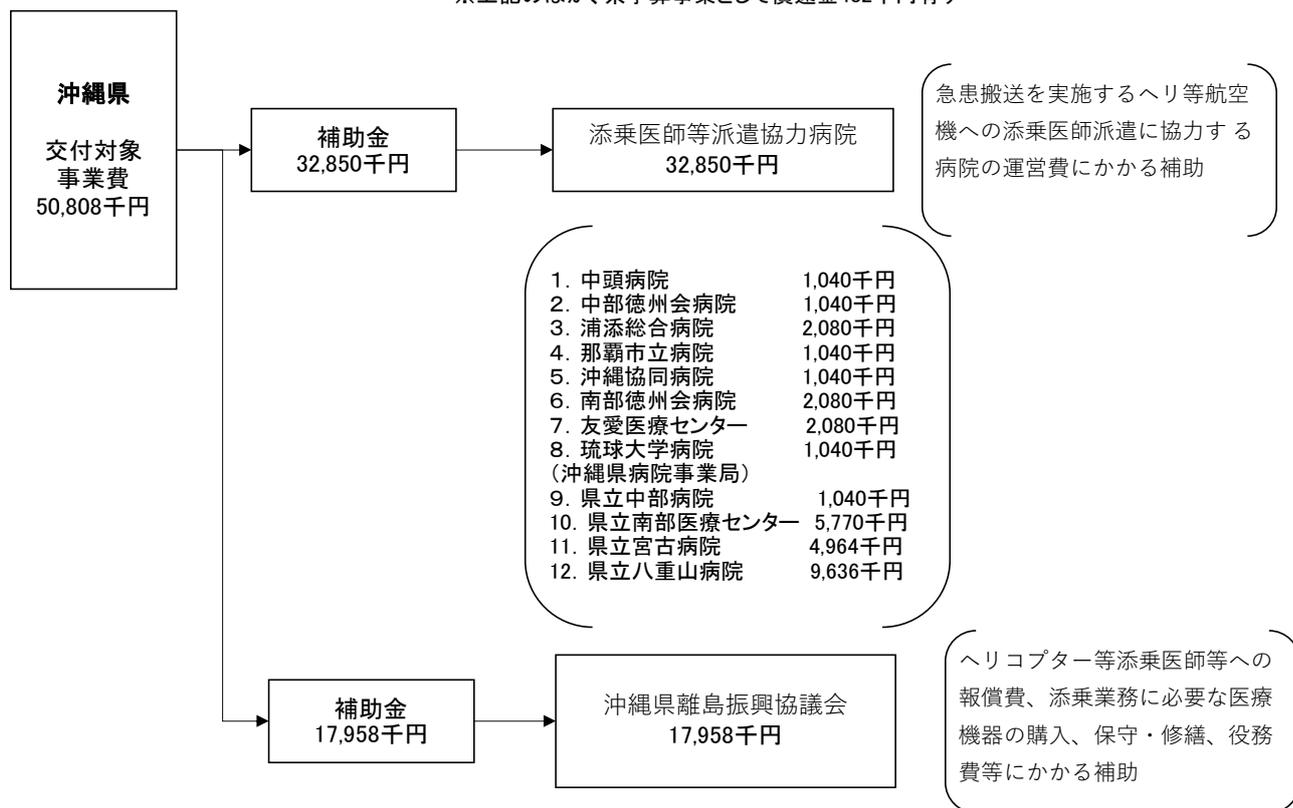
事業番号・事業名	53	ヘリコプター等搬送体制確保事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章）	2-(3)-ウ-②			
担当部課名	保健医療介護部 医療政策課	事業実施（予定）年度	H24～R13 年度	救急医療提供体制の確保・充実 Ⅲ-4-(2)			
事業内容	自衛隊及び海上保安庁の協力により実施している急患空輸ヘリ等への添乗医師等を派遣する添乗当番病院に対して、派遣当番日に代替医師等を確保する経費を補助するほか、ヘリ等へ添乗する医師等に対する報償費等の補助などを行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】		R4年度	R4年度（繰越）	R5年度	R5年度（繰越）	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	46,000		48,257		52,751
		(b) 予算現額	46,000		52,746		52,751
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	4,489	0	0
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
		A. 計 (b+d)	46,000	0	52,746	0	52,751
	B. 執行済額		43,740		48,983		50,808
	うち交付金充当額		34,992		39,186		40,646
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率（%）(B/A)		95.1%		92.9%		96.3%
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度予算は、当初想定より添乗件数が増加傾向となったことから増額補正を行った。 令和6年度当初予算は、令和5年度の添乗件数が過去最多となったことを踏まえ、添乗見込み件数を増やし、令和5年度当初予算に比べ4,494千円増額した。 執行率は96.3%であり、主に添乗件数が当初想定した件数より減少したことによるものである。 					
活動目標（指標）及び進捗状況	R6活動目標（指標）		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	添乗当番病院の当番日数	目標			366	365	
		実績			366	365	
	搬送回数	目標	-	-	-	-	
実績		198件	227件	280件	247件		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 自衛隊及び海上保安本部の協力により実施している急患空輸ヘリ等への添乗医師等の安定的確保を図り、県内の救急医療体制を強化・維持するため、添乗医師等派遣協力病院に対する運営費補助を計画通り実施した。 令和6年度搬送回数は247件（自衛隊（166件）、海上保安庁（81件））であった。 						
成果目標（指標）及び達成状況	R6成果目標（指標）		基準値（H25年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（〇〇年度）
	添乗当番病院の当番日数	目標			366	365	
		実績			366	365	
	【R7年度成果目標】添乗当番病院の当番日数		目標				365日
	達成状況説明	令和6年度は、添乗医師等派遣協力病院等により構成された協議会で策定された当番表に基づいて365日全ての日において添乗当番病院の当番を確保することができ、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・添乗当番病院は曜日ごとに決めており、固定の曜日を毎週担当する病院と、複数の曜日を隔週で担当し、場合によって週に2回当番となる病院がある。</p> <p>・添乗に協力いただける医師等が減少しており、添乗医師等の当番日の人員配置について、添乗当番病院には大きな負担となっている。</p>	<p>・各添乗当番病院の当番日数を減らすため、添乗当番病院の拡充を図る必要があることから、協力を得られていない救急病院に対し参画を依頼したところ、添乗医師や受入れを含めた体制確保が困難として参画を断られたことから、添乗に係る病院側の負担軽減や、協力による病院側のメリットについて検討する必要がある。</p> <p>・添乗医師等派遣協力病院等により構成された協議会において、添乗に協力いただける医師等が減少した一因として、添乗報酬が長年見直されていないことが挙げられたことから、適切な報酬について検討を行う必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・県の実施する他の事業等を含めて協力病院に提供可能なメリットについて検討を行うとともに、添乗医師等派遣協力病院等により構成された協議会において、関係機関の意見を踏まえた負担軽減策の検討を行う。</p> <p>・他都道府県における類似事業等の研究を行うとともに、事業実施主体の沖縄県離島振興協議会と調整を行い、添乗報酬について見直しを行う。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
50,808	50,808	40,646	10,162	0	0	0

※上記のほか、県予算事業として償還金482千円有り

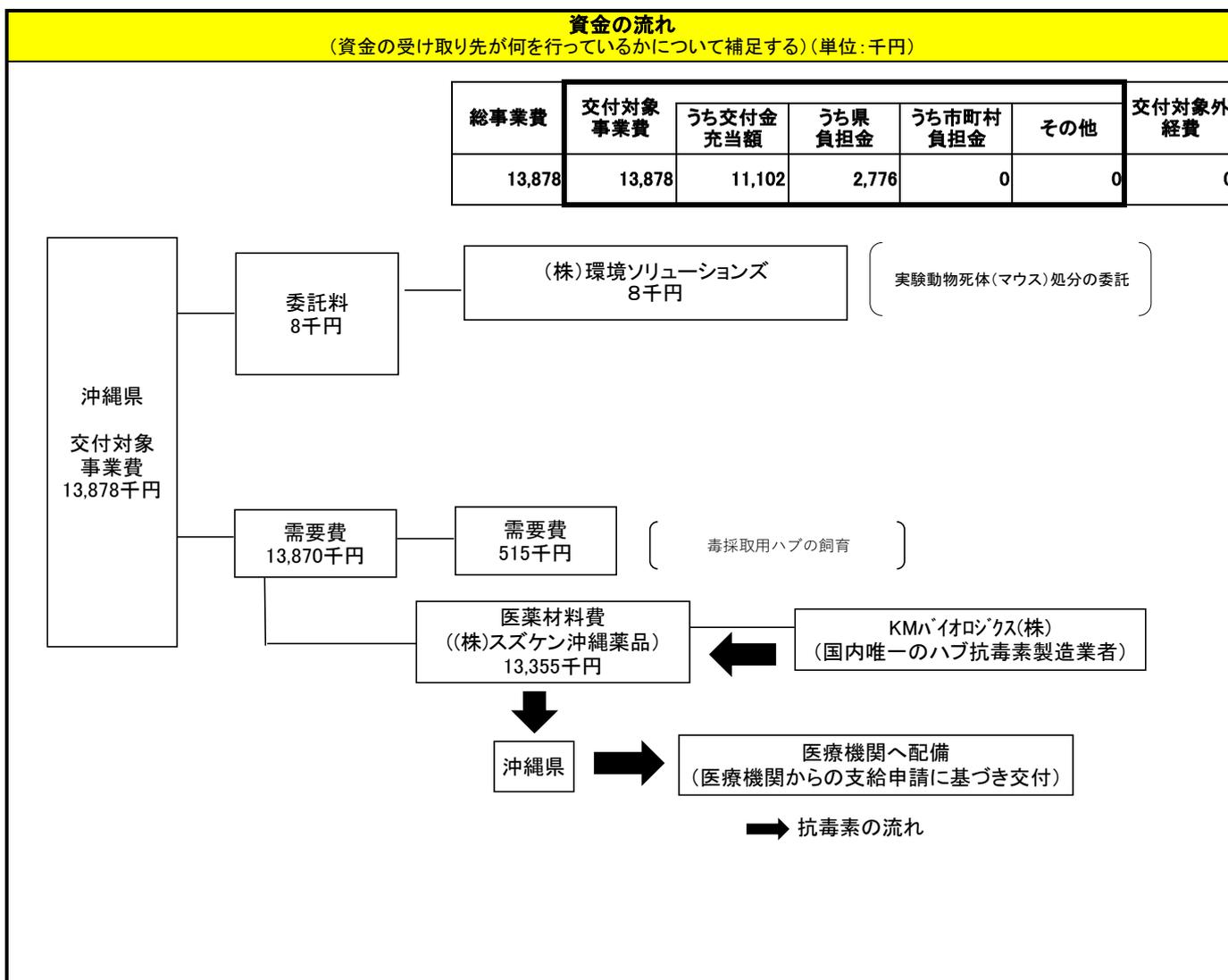


資金の流 れの点 検・費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○県内の救急病院の中から協力病院を選定しており、支出先として妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模、費目、使途については、離島を多く抱える地理的特性等の沖縄特有の事情により、ヘリ添乗医師等を確保するための病院等への補助としており、額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号 ・事業名	58	ハブ咬症治療体制整備事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	2-(3)-オ-⑤			
				危険生物対策の推進			
担当部課名	保健医療介護部 業務生活衛生課	事業実施 (予定)年度	H24～R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-4		
事業内容	ハブに咬まれた場合に利用する抗毒素(医薬品)を購入し、県内医療機関に配備する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】	予算 の 状 況		R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度
		(a) 当初予算額	28,115		21,185		14,195
		(b) 予算現額	28,115		21,185		14,195
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	28,115	0	21,185	0	14,195
		B. 執行済額	27,777		20,353		13,878
		うち交付金充当額	22,222		16,282		11,102
		C. 次年度繰越額			0	0	0
		執行率(%) (B/A)	98.8%		96.1%		97.8%
予算の状況の説明	執行率は97.8%であり、概ね計画的に執行できた。						
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	抗毒素購入本数:47本		目標	-	-	-	購入する
			実績	-	-	-	購入した
進捗 状況 説明	・活動目標のとおり、47本購入した。なお、令和6年度の使用実績は44本であった。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (H11年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)
	ハブ咬症治療に対し最低限必要な抗毒素が医療機関に適宜配備されている割合		目標	-	-	100%	100%
			実績	-	-	100%	100%
	県内におけるハブ咬症による死亡者数		目標	0人	0人	0人	0人
			実績	1人	0人	0人	0人
	達成 状況 説明	ハブ咬症による死亡者数0人を維持しているため、抗毒素が必要な医療機関に配備され、適切な治療体制を確保できていると考えられる。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・抗毒素の単価が、厚生労働省の薬価改定により年々価格上昇している。 (平成28年度) 88,691円 (令和元年度) 90,333円 (令和2年度) 135,500円 (令和4年度) 141,209円 (令和5年度) 199,540円 (令和6年度) 258,314円	・ハブ抗毒素の安定的な製造を確保するためには、製造メーカーからの毎年一定数の抗毒素の購入が必要である。 ・医療機関への抗毒素の配備については、医療機関における使用状況を確認し、常に適正量を配置できるよう、定期的な配備本数の見直し等の取組が必要である。
	今後の取り組み方針	
・継続してハブ抗毒素を購入・配備することにより、ハブ咬症時における安全な治療体制を確保する。 ・ハブ抗毒素配備医療機関における使用状況を確認し、配備機関・配備本数の見直しを図る。		



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ハブ抗毒素を過不足なく医療機関に配備できており、適正規模であると考えます。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	